



猫新聞

郵便振込口座
00830-2-204941 Go!Cats
<http://go-cats.main.jp/index.html>

Go!Cats

ゴーキャツは浜松市を中心に、飼猫・野良猫の不妊手術推進、猫の譲渡会開催などの活動をしています

目は見えなくても…



”生まれてしまった”という理由で保健所に持ち込まれた4匹の小さな小さな兄弟。
「助けてやって欲しい」という職員の依頼を受けて引き取りました。

衰弱していた子たちは、哺乳瓶に吸いついてミルクを飲めるようになると次第に元気を取り戻し、ころころ太ってかわいらしくなりました。

もう大丈夫と胸をなでおろした頃、一番小さな子の動きがおかしいことに気がきました。今まで育ててきたたくさんの仔猫とどこか違う…

「何だかわからないけど何だかへんなの」とメンバー同士で妙な会話を交わしたりもしていましたが、そのうち『もしかして目が見えてない?』と思うようになりました。

そう思って観察してみると、視線が合わないようだし、そっと目の前で手を動かしてみても目で追わないし、逆に無い筈のものに手を出してみたりするし、壁にもゴツンとぶつかったりもする…

日がたつにつれ疑問は半ば確信に変わり（信じたくない気持ちもありましたが）、その頃からこんなふうに話しかけるようになりました。

『せっかく助かった命なんだから、見えても見えなくても、がんばって大きくなろうね。』

ビンガと名付けられたその子猫は、見えないながらも懸命に生きていました。

でも、ご飯やトイレの場所をどうやって教えたらいんだろうか、眠くなったらベッドに戻れるだろうか・・・私自身両目の見えない子猫の保護は初めてで、どう接していいのかわからず戸惑うばかりの毎日でした。

見えないが故に、宇宙遊泳のような歩き方をしたり、怪しい動きをしたりするビンガに他の猫たちは近寄ってくれません。兄弟同士でめぐり返って遊ぶはずなのにいつも一人外れてしまうビンガがとても不憫でしたが、どうしてやることもできません。この子は里親さんも見つからないだろうなと半ばあきらめていました。

そんな時、ブログの記事を読んで全盲の猫と一緒に暮らしている S さんがビンガを是非にと希望して下さったのです。S さんのお宅には大型犬も3匹暮らしており、その子たちも猫には慣れているとのこと。

降ってわいたようなすばらしいお申し出にワクワクしながら、そして、「気に入っていただけるだろうか」「ビンガは新しい環境で暮らせるだろうか」と不安も感じながら、数日後にビンガを連れて S さんのお宅に伺いました。

大型犬との初めての対面でビンガはパニックを起こして暴れだすかも知れないと緊張しましたが、目が見えなくて大きさがわからなかったためか、ビンガはぎこちない足取りながら不思議なくらい落ち着いていました。

今思うと、S さんのお宅の温かい雰囲気を感じとっていたのかも知れませんが、くれぐれも無理はなさらないでくださいとお願いし、1週間のホームステイとなりました。



もしかしたらもしかするのかも…

淡い期待がだんだんと膨らみ、1週間後・・・

ドキドキしながら掛けたお電話で「もうすっかりうちの子ですよ」と飛びあがる程嬉しいお返事をいただきました。

ビンガ改めココちゃんは、何が原因で失明したのかもわからず、実際に

その後も心臓に病気が見つかったりで S さんには大変な心配（苦労？）をおかけしてしまいました。

それでも S さんは言うてくださったのです。

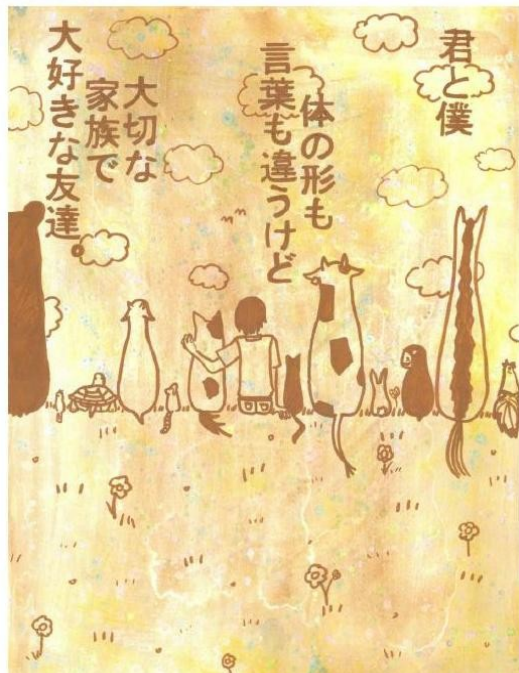
『この子は私たちでなければダメだと思うんです。』

譲渡の手続きに伺った時、大きな犬たちにもまれながらも悠々と歩き、S さんに抱かれるココちゃんは少しふっくらしていて、体中から幸せがあふれているようでした。

先住の猫さんも、大きなワンさん達も、ひとつの大きな大きな輪のように自然体で暮らしていました。

ココちゃんもその輪の中でいつまでも幸せに暮らすことを今は確信しています。

見つめなおそうよ 人と動物のきずな



私一回、パソコンで保健所や密輸の様子を見た事があります。涙が止まりませんでした。でも、泣くだけで何もできない自分が悔しかったです。

今でも動物達がどこかで悲鳴をあげているかもしれないのに。でも私は、まだ子どもだし、お金もありません。

だから、もし私の描いたポスターを見て、生き物を大切にしてほしいという気持ちが伝わればいいなと思い、このポスターを描きました

(平成 24 年度動物愛護週間ポスターコンクール最優秀作品賞を受賞した橋口玲美さんの作品コメント)



キヤットQ&A

Q：猫がこたつやゲーム機のコードを齧るので困っています。携帯の充電コードも噛み切られました。やめさせる方法がありますか？

A：仔猫や若い猫の中には電気コードやパソコンの配線などにじゃれついたり噛みついたりする子がけっこういます。コード類が痛むのも困りますが、猫にとっても大変危険。叱ってやめさせるのは難しいのでコード類を守る対策を講じましょう。コードに辛子やタバスコなど猫の嫌いな臭いを塗りつけて成功した例もありますが、何と云っても一押しはコルゲートチューブ。これは自動車の配線の結束、保護などに使う凸凹状の波形を持たせたチューブで、縦に入っている切れ目からコードを中に入れることができます。硬いけれどフレキシブルに曲がりますし、サイズもいろいろあり、ホームセンター等では 1m 数百円程度で売っています。是非お試しください。また、猫がコンセントをいじるようなら、赤ちゃん用品コーナーなどで買える幼児用のコンセントカバーがお勧め。万一、猫がコードを齧って感電してしまったら、慌てて猫に触ったりせず、まずはコンセントからプラグを抜きます。やけどをしていたり意識がなかったりしたら、すぐに動物病院へ。

Go! Catsの

「仔猫・若猫譲る会」

第1日曜日：ペット愛ランド早出町店（11：00～15：00）

第2土曜日：熊平動物病院（半田山 12：30～15：30）

第3日曜日：ペット愛ランド志都呂店（11：00～15：00）

第4日曜日：西山会館（西山町 13：00～16：00）

どうぞおでかけください

毎月第4土曜日には、遠鉄百貨店正面玄関前にてパネル展開催

2011年度活動報告・収支報告

活動報告

不妊手術助成：動物病院の先生方にご協力をいただきながら、141匹(メス 112 匹、オス 29 匹)の猫の不妊手術に助成金を出しました。猫問題の解決には不妊手術が何よりも大切です。これからも手術の必要性を多くの方に呼びかけていこうと思っています。

猫の譲渡：182匹の猫たちを温かいご家庭に送り届けることができました。猫たちを家族の一員に加えてくださった皆さん、猫たちに関心を寄せてくださった皆さん、寄付や募金をしてくださった皆さんに心より御礼申し上げます。

パネル展

Go! Cats の活動も9年目に入ります。
これからも応援よろしく願いいたします。

収支報告

収入：寄付、募金など 1,464,164 円
支出： 1,738,784 円

△274,620 円

支出内訳：

不妊手術助成金及び手術代／674,450 円

保護した猫の治療費／443,203 円

フード代／320,180 円

譲る会、パネル展運営費／141,696 円

備品・消耗品費等／43,470 円

被災地支援（現金及び物資）／115,785 円